

## アートを「資産」として捉えるということ

多くの場合、ホテルや建築空間におけるアートは、空間を整えるためのインテリアとして選ばれてきました。しかしその視点に立つ限り、アートは消耗品であり、更新され、やがて忘れられる存在になります。

一方で、アートを資産として捉える視点に立つと、その意味は大きく変わります。

アートには、作家性、時代性、評価の蓄積、そして市場があります。これらはすべて、価値が形成され、継続されていくための条件です。

つまり、アートとは「飾るもの」ではなく、保有され、時間とともに意味を深めていくものです。

資産としてのアートを空間に迎え入れるということは、単に美しい作品を置くことではありません。その空間自体が、文化的な価値を内包する主体になるという選択なのです。